

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

<b>事業所名</b>	児童発達支援・放課後等デイサービス のぞみ	<b>公表日</b>	R8年 4月 1日
-------------	-----------------------	------------	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容や個性に合わせ、大きい部屋と小さい部屋を準備し、対応しています。	利用定員の人数に対し十分なスペースを確保している。個別や集団などにも十分対応できる部屋数があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準を満たしており、且つ加算対象となる資格要件を満たしている人員配置も行っています。	今後も人員を増やし、より手厚いサービスが提供できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		部屋ごとに色合い等を変えており、運動のしやすさ、癒し、集中のしやすさなどを意識した構成にしています。	必要に応じ検討していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		部屋ごとに色合い等を変えており、運動のしやすさ、癒し、集中のしやすさなどを意識した構成にしています。	必要に応じ検討していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室が数部屋あり、必要に応じた使用が可能となっています。	必要に応じ検討していきます
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティングや定期の事業所会議にて P C D A サイクルを意識して会議を実施しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		送迎や見学時、定期面談等の際に意見を頂いています。	保護者の意見に対し真摯に受け止め改善に努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや定期会議にて実施しています。	必要に応じて業務改善を速やかに行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	実施しておりません	検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期研修と年2回の全体研修にて研鑽している。	今後も継続すると共に、職員が習得したい分野の内容を多く取り入れていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5 領域に基づいて職員で意見を出し合い、且つ特色を生かしたプログラムの作成や公表をしています。	定期的に見直ししながら適切な支援プログラムとなるようにしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントで、個々の状況把握だけではなく、生活課題や抱えている課題の細部をまで意識しながら実施している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		定期の会議にて職員間で共有しながら実施している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援会議で情報を共有し、全職員で認識を合わせています。	今後も全職員で情報共有を行い、認識を合わせ利用者一人一人に合った支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		フォーマルのアセスメントに加え、ケース記録等においては、インフォーマルなアセスメントとして確認しています。	日々の記録等を意識したアセスメントを使用し確認していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインのねらいや援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容を設定するように心掛けています。	今後もガイドラインを意識しながら取り組んでいきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームを意識しながら、5 領域に基づいたプログラム作成を行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事等も意識しながら様々な視点からプログラムの作成をしています。	今後も継続して様々な活動を取り入れていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		各専門職の視点から多角的に個別性・集団活動のプログラムを作成、支援しています。	今後も全職員で情報共有を行い、認識を合わせ利用者一人一人に合った支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		日々のミーティングより、支援の振り返りや業務内容、支援内容等の確認をしています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後、その日の振り返りと気が付いた点などの共有をしています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個々の目標や活動を記録し、全職員で検証しています。	今後も継続して記録を取り、検証・改善に努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年ごと（または必要に応じて）モニタリングを行、計画書の見直しを実施しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者とともに児童指導員等も必要に応じて参加しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		教育機関とは、密に連携し支援体制を整えることが出来ています。	他の関係機関とも連携できるように取り組んでいきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		電話や会議等を通じて情報の共有を相互で図ると共に、必要に応じて支援内容も検討しています。	今後も密に連携を取り、実施していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		小学校教員を含め、支援内容及び情報共有を行っています。	就学以降時および就学直後も意識的に密な連携を図りながら対応していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			非該当	非該当
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			非該当	非該当
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			非該当	非該当
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		現時点では、機会を設けることが出来ていません	開設初年度であり、機会を設けることが出来ていませんが、今後は、設けることが出来るようになっていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		定期的に交流できる機会を設けています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時やline等を活用し共有できるように実施しております。	今後も継続して取り組んでいきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		回数は少ないが家族支援等を実施しています。	定期的な開催までは設定できていないため、今後整備していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に、説明をしています。	契約時だけでなく、必要に応じて説明できる旨を保護者に伝えていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者の意思などを聞き取り、プログラムの中に反映させています。	今後も保護者の意思を反映しながらプログラム等を考案していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画書を呈示しながら説明し、保護者より同意を得ています。必要に応じて見直しもしています。	今後も同意を得ながらサービスを提供してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や定期面談等にて相談に応じ、必要な助言及び関係機関とも情報共有を行っています。	今後も継続して取り組んでいき、相談しやすい環境を整えていきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	保護者会は実施しており、交流の機会を設けました。開設した初年度という事もあり、保護者やきょうだい同士の交流は、夏に実施予定です。	夏に夏祭りを予定しています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	相談窓口や重要事項説明書にて説明しています。	苦情等があった際には迅速に対応させていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	SNS及び文面にて行事予定や活動の様子等を発信しております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	契約時に承諾を得て、取り扱いに関しては十分に留意しています。	今後も丁寧に対応してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	保護者との意思疎通及び情報伝達においては、一人一人に合った方法で対応させて頂いています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	高齢者施設への定期的な訪問やハロウィン等の行事の際に地域住民に協力をいただきながら実施している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	必要に応じて学習及び防災訓練等を実施しております。また、保護者の方にも、契約時にも説明しています。	保護者の方には、都度説明をし、より一層周知してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	BCP委員会を設置し、計画的に実施しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	利用前の見学時や支援会議、受診後等に確認をしています。	今後も継続して取り組むと共に、保護者へも周知し、確認してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	事前に聞き取りをしっかりとし対応しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	安全計画をもとに必要な点検や訓練を実施しています。	今後も安全計画をもとに継続して取り組むと共に安全管理を徹底してまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	安全計画を作成し、保護者に説明しています。	今後も、保護者への周知徹底し連携を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	職員間で共有し再発防止に努めています。	今後も継続してまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	委員会を設置し、定期的に研修を行い、事例等を通じて検証し、取り組みを強化しています。また、虐待の起きにくい環境を整備してまいります。	委員会より定期的に研修を実施し、適切に対応してまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	委員会を設置し、研修を定期的実施しております。また、必要な時は保護者に承諾を得ます。	今現在、対象児童はいませんが、必要に応じて適切に対応してまいります。	